

とん
とん
とん
とん
とん



令和3年度 学校だより 9月臨時号

糞谷

大田区立糞谷小学校

ホームページ <https://www.ota-school.ed.jp/koujiya-es/>

最後まで、
手を抜かない。
気を抜かない。



学力の定着に向けて

校長 水浦 茂樹

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、これからの世の中を生き抜く子どもたちに必要な能力と何か、OECDがまとめたコンピテンシーを基に考えると、「様々な場面で言葉や道具を使いこなす」、「信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する」、「感情をコントロールする」、「見通しをもって計画的に行動する」、「目標を達成するために他者と協働する」、「他者の立場で物事を考える」等の力であると考えます。

学校において、こうした力を育成する中心となるのは授業であり、特に、物事を正しく判断し、適切に行動するためには、正確な情報の取捨選択や知識等が必要となります。このため、本校においては、文章をきちんと理解したり、相手が言いたいことを理解したりする力を育成するため、教科書を徹底活用し、覚えることきちんと覚え、覚えた知識を基に考えることを促していきたいと考えます。

このたび、概要ではありますが、大田区学習効果測定（第4学年～第6学年）と全国学力・学習状況調査（第6学年）の本校結果についてご報告申し上げますとともに、家庭学習の参考になることをお知らせします。ご報告申し上げます内容については、今後の学習指導の改善を通してお子様の学力の定着に役立ててまいります。

なお、学校ホームページには、授業改善推進プランを掲載しましたので、併せてご確認ください。

今回の調査の実施に当たり、解答する前提として問題文を読んで適切に理解する力が求められると思いました。文を的確に読み取るには、「言葉の意味が分かる」ことが求められます。語彙量にも通ずるものと考えます。

そこで、問題です。保護者の皆様、次の文において、教科書に載っている正しいものはどれか分かりますか。



【第3学年理科の教科書から出題】

- 1 体が頭、むね、はらの3つに分かれ、はらに6本のあしがある虫のことをこん虫といいます。
- 2 体が頭、むね、はら、こしの4つに分かれ、あしがあってもなくてもこん虫といいます。
- 3 体が頭、むね、はらの3つに分かれ、むねに6本のあしがある虫のことをこん虫といいます。
- 4 体が頭、むね、はらの3つに分かれ、頭から2本の足が出ている虫のことをこん虫といいます。

まずは教科書を読み、理解する力を育てましょう。

正解は「3」です。3の文は、教科書に書かれているそのものの文です。教科書の大事な箇所をきちんと覚えていないと、解答は難しいと考えます。

1 大田区学習効果測定（第4学年から第6学年）の結果から

例えば、算数科では次のような結果が見られました。

- ・過去3年間、第4学年時の結果を観ると、どの年度も目標値を上回っている。このことは、第3学年までの指導において学習内容が定着していることを表している。
- ・しかしながら、その後、進級するにつれて本校の平均正答率は目標値を下回るようになる。

他の教科についても、残念ですが、本校の学力の定着度は、直近の過去3年間の推移を観るに、各教科の平均正答率は目標の基準に達していません。

このため、校内研究（国語科「読むこと」）を基軸に全教職員が授業改善推進プランに沿って授業力を磨くようにいたします。子どもの学びには、知識の吸収が大切であり、基本的な知識や技能は、思考の基盤となります。知識がないのに考えることはできないとの考えが根本にあります。このことを踏まえ、特に重視したいのは、基本的な知識・技能の習得です。日々の授業において、教科書の徹底活用をとおして子どもたちに習得させるようにいたします。

※ 詳細は学校ホームページに掲載しましたのでご確認ください。

2 全国学力学習状況調査（第6学年）の結果から

次のような結果が見られました。

(1) 国語科

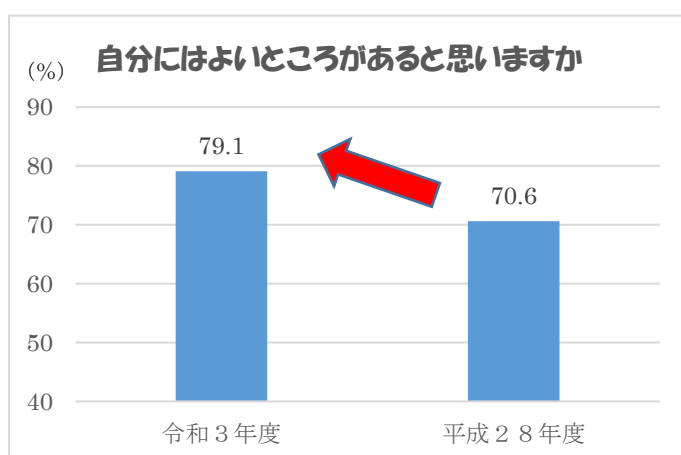
- ・記述式の回答は特に苦手である。
- ・問題文を読み、話の内容が明確になるよう構成を考えたり、話の目的を理解したりすることができていなかった。
- ・文法については、修飾と被修飾の関係の理解に課題がある。

(2) 算数科

- ・直角三角形の求積、二等辺三角形の求積を平行四辺形を使って求積方法と答えを文章で説明することができていなかった。
- ・帯グラフの読み取りができていなかった。

(3) 児童質問紙調査

○**自己肯定感**が高まっています。



対象の児童は異なりますが、平成28年度の第6学年児童と今年度を比べると高まりが見られます。

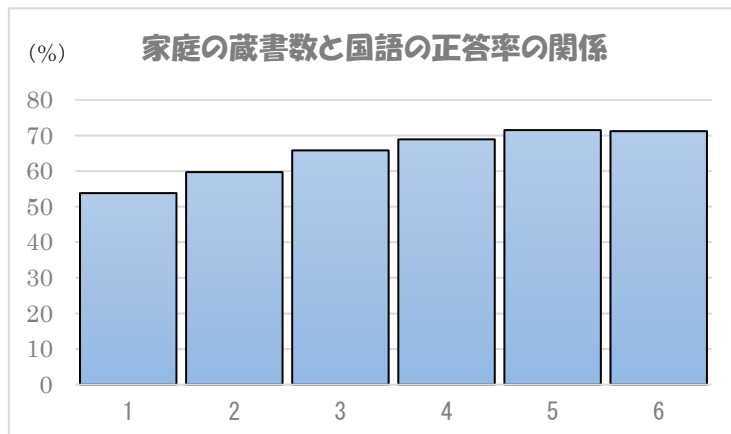
日本人は国際的にも自己肯定感が低いと言われています。自分のよさを認識できている子どもが本校に多いということは、自分をかけがえのない存在、価値ある存在と捉えているからです。ご家庭で本人を認め、安全・安心できているからと考えます。

○**読書**について 「あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）」

- ★本の扉を開ける習慣付けをしましょう。
- ★読書月間を有効に活用しましょう！

「1 0～10冊」、「2 11～25冊」、「3 26～100冊」、「4 101～200冊」、「5 201～500冊」、「6 501冊以上」で子どもに聞いています。本校は国や都と比べると「1 0～10冊」、「2 11～25冊」で回答した割合が高い傾向にあります。読書と正答率の相関があり、読書の蔵書数が多い子どもほど、正解率が高いという結果でした。ただ、家庭環境により本を多く置くことができない家庭もあります。こういう場合は、学校図書館や地域の図書館を十分に活用することで補完できると考えています。

新聞と読もう。
本を読もう。

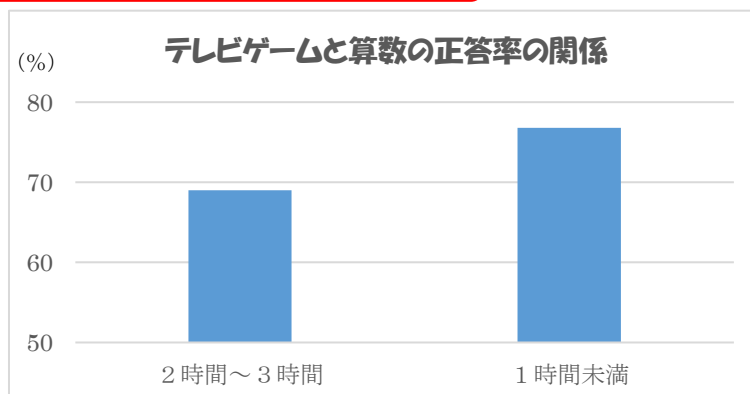


※左のグラフは、本校ではなく、国のデータです。

○1日当たりのゲーム時間

本校においては1日当たりのゲーム時間が2時間以上と回答している割合は国や都と比べて高く、4時間以上と回答している子どももいます。下のグラフは抽出ですが、ゲーム時間が少ない子どもは正答率が高くなっています。つまり、ゲーム時間が長ければ長いほど正答率が下がり、短いほど高くなります。

- ★「糶谷小学校 SNS ルール」を守るなど、子どもと保護者でゲーム時間の約束を！



※左のグラフは、本校ではなく、国のデータです。

家庭学習を習慣化させるためのポイント

質問紙調査「家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしていますか」について、話をしている子どものほうが正答率が高くなっています。

下に示した**4つのポイント**は、家庭学習の習慣を身に付けることはもとより、子どもの健やかな成長のためにも大切な基礎の部分です。お子さんが低学年のうちには、生活のリズムを整えることを中心にサポートし、学年が上がるにつれて、学習の計画を立てて実行できるようにするなど、自主性を伸ばしていきましょう。



生活のリズムを整える

○規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。早起き・早寝をする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、携帯電話、スマートフォンの時間を決めましょう。

努力を認め励ます

○一つのことを継続して取り組ませたり、少し難しいことに挑戦させたりして、やり遂げることの喜びを体験させましょう。
○子どもの学習に目を向け、必要な声掛けや点検を行い、粘り強い努力を本気でほめましょう。

読書する時間をつくる

○読書は、子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、家庭での読書や読み聞かせをしましょう。
○地域の図書館等に行き、本との出会いをつくりましょう。

学ぶ雰囲気をつくる

○家族で過ごす時間を大切に、子どもの話をしっかり聞きましょう。
○ニュースなどを話題にして、社会への関心を広げましょう。

☆チェック☆

お子さんの生活をご存じですか。チェックしてみましょう。

- お子さんの好きな教科、苦手な教科を知っている。
- お子さんの教科書を見たことがある。
- お子さんの担任の先生の名前や組を知っている。
- お子さんの仲のよい友達を知っている。
- お子さんが通う学校の学校行事の日を知っている。
- お子さんがよく見るテレビ番組やゲームをする時間を知っている。
- お子さんが今持っているお金の金額を知っている。
- 家族全員で、週2回は食卓を囲んで話をしている。
- 社会の動き（ニュース）について話し合うことがある。
- 自分の生き方や仕事の内容について話したことがある。

